

巣を除去する場合は

アシナガバチなど、攻撃性が比較的弱い種類については、誤って巣に触れてしまうような場所でない限り必ずしも除去する必要はありませんが、通路などの日常生活上支障のある場所に巣が作られたときは、早めに除去することも必要です。

〈スズメバチ〉

- 攻撃性が強く作業中に刺される場合もあるので、巣の除去は専門業者に依頼しましょう。
- 〈アシナガバチ〉
- スズメバチに比べ攻撃性が弱く、外皮もないため自分で除去することも可能です。
- 夕方から夜、ハチが活動を停止している間に、風上から巣に向けてスプレー式の殺虫剤を20～30秒吹き付けます。
- 巣が小さいうちに除去するのがポイントです。

名古屋市では駆除を行っていますませんが、ハチの種類によって対応が異なりますので、保健センターに相談してください。

もしハチに刺されたら

- 刺された場所から、できるだけ速さかる。
↓
- 傷口を流水でよく洗い流す。
↓
- 患部に抗ヒスタミン軟膏を塗る。(アンモニアは効果がありません)
- 症状がひどい場合は、速やかに医師の診察を受ける。

衛生害虫の相談は、保健センターへ

- 千種保健センター 環境業務室 ☎ 753-1973
(担当区：千種区、昭和区、瑞穂区、名東区)
- 中村保健センター 環境業務室 ☎ 481-2217
(担当区：西区、中川区、熱田区、中川区)
- 中保健センター 環境業務室 ☎ 265-2256
(担当区：東区、北区、中区、守山区)
- 南保健センター 環境業務室 ☎ 614-2862
(担当区：港区、南区、緑区、天白区)

※上記以外の保健センターでも実所相談を実施しますが、現地調査などは上記4保健センターに引継ぎます。

このリーフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

ハチに刺されたいために

スズメバチ



名古屋市

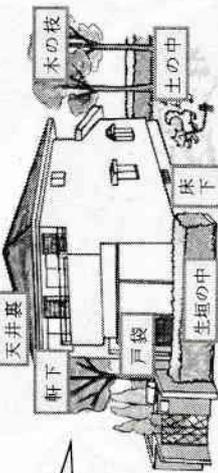
一般にハチは、イモムシなどの昆虫を捕らえて食べたり、植物の花粉を媒介するなどの働きをしており、自然界のバランスを保つうえで有益な昆虫とされています。しかし、スズメバチなどの集団生活を営むハチは巣を守ろうとする防衛本能が強く、場合によっては人が刺されるという被害が生じています。

そこで、スズメバチなどの習性をよく知って、刺傷被害を未然に防ぎましょう。

スズメバチ

スズメバチの仲間（コガタスズメバチ、キイロスズメバチ、モンズメバチなど）

- 古屋市内の住宅地ではコガタスズメバチが多く生息しています。
- 体長は、コガタスズメバチで22～28mmです。
- 縞模様のある外皮で覆われたボール状の巣を作ります。
- 女王バチが単独で営巣をしている5～6月頃のコガタスズメバチの巣は、トックリを逆さまにしたような形をしています。
- 成虫は樹液などを好み、昆虫を捕らえて幼虫に与えます。
- 巣を守るため、巣に近づくと攻撃をしてくることがあります。



スズメバチはこんな所に巣を作ります。

コガタスズメバチの生活史

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 越冬期の場所 女王バチが1匹、女王バチと働きバチが共同で巣をつくり、卵や幼虫の世話をし、越冬する | 女王バチが1匹、女王バチと働きバチが共同で巣をつくり、卵や幼虫の世話をし、越冬する |



5～6月頃の巣



大きくなった巣(8月以降)

その他のハチ

アシナガバチの仲間（セグロアシナガバチ、フタモンアシナガバチなど）

- 都市部でごく普通に見かけるハチで、足をだらりと下げて飛んでいます。
- 体長は、セグロアシナガバチで21～26mmです。
- 軒下や木の枝などに、茶碗を逆さにした形の巣を作ります。スズメバチの巣と違い外皮がないため、六角形の巣穴がたくさん見えます。
- スズメバチに比べると性質が温和で攻撃性は強くありませんが、巣に触れたりして刺激を与えると攻撃してくることがあります。



アシナガバチの巣

ミツバチの仲間（セイウミツバチ、ニホンミツバチ）

- 人家に巣を作ることにはまれですが、5～7月にかけて巣分かれ（分蜂）のために大群で移動することがあります。
- 分蜂群は営巣場所を探すため早ければ数時間、長い場合は数日間近くの樹木に止まり、その後営巣場所に移動します。
- 街路樹や庭木などに多数のハチが蜂球を作って群るため恐怖感を与えますが、分蜂群はおとなしいため、ハチを刺激したりつぶさないかぎり刺すことはないといわれています。



ミツバチの分蜂群

ハチに刺されないうために

- 巣に近づいたり、イタズラしたりしない。
- 庭木を剪定するときは、まず、周囲に巣がないか確認する。
- ハチが餌をとっている時は、刺激しない。
- 洗濯物にハチがまぎれこんで刺されることがあるので注意する。
- ハチは黒色に対して激しく攻撃する性質があるため、ハイキングなど野外に出かけるときは、黒い着衣は避ける。匂いもハチを刺激するため、ヘアスプレーや香水などの化粧品の使用にも注意する。

